

記入欄が足りない場合、本用紙を複写して使用するとともに、通し番号を記入する → (No.)

指定研修機関名：指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入する

講義、演習又は実習を行う施設及び設備の概要

※講義、演習又は実習を行う全ての施設について、特定行為区分ごとに記入する。 記入日：平成 年 月 日

1. 施設の名称	フリガナ	
2. 施設の所在地	〒 □ □ □ □ □ □ □ (都・道・府・県) 都・道・府・県の選択肢は削除せず、該当するものに○をつける。 電話：() — FAX：() —	
3. 施設の代表者の氏名	フリガナ 学校にあっては設置者、病院にあっては開設者、法人その他の者にあってはその代表者の氏名を記入する。所属施設名、役職の記入は不要。	
4. 特定行為研修の実施責任者の氏名等 協力施設の場合のみ記入する。	フリガナ 氏名（姓） (名) 職種： 役職：	
5. 特定行為区分の名称		
6. 当該施設で行う特定行為研修の科目と研修方法 同一施設で2区分以上の研修を行い、かつ共通科目も行う場合は、共通科目は全て記入する。	科目 共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合は、独自の科目名）を記入する。	研修方法 講義、演習又は実習のうち該当する研修方法を記入する。
7. 当該施設で特定行為研修を受ける看護師の定員	名 様式1別紙1「4. 特定行為研修の実施期間」に記入されている期間の定員数を記入する。 1年間に特定行為研修を複数回行う場合は、1年間でなく1回あたりの定員数を記入する。	

(No.)

指定研修機関名：

[illegible]

指定研修機関名：

9. 通信により行う場合の環境の整備状況						
具体的な実施方法						
印刷教材	利用する教材の特色	概要を記入する ・教科書及び指導書等の教材名（教材提供会社名も記入する） ・教材の作成及び更新の方針 ・郵送等の教材を提供する方法 等				
	学修課程の管理方法	概要を記入する。 ・学修する場所（自宅、研修室等） ・学修時間の確保の方法・工夫 ・スクーリングの有無と時期・頻度 ・出席の確認方法、履修の進捗状況の確認方法 ・演習の実施方法 ・添削方法 ・指導の方法 等				
	試験等評価の実施方法	履修の成果を評価する方法の概要を記入する。 ・評価の時期（科目毎に小テスト、共通科目終了時に共通科目テスト等） ・評価の方法（筆記試験・口頭試験・レポート等） 等				
放送	利用する技術の特色	授業を視聴するために利用する技術の特色を記入する。 ・教材名（教材提供会社名も記入する） ・授業を視聴できる時間（24 時間利用可能 等） ・授業を視聴できる環境（インターネットに繋がる環境であればどこでも視聴可 等） ・教材の作成及び更新の方法 等				
	学修課程の管理方法	上記印刷教材と同様に記入する。 その他 ・放送環境のトラブルへの対応方法 等				
	試験等評価の実施方法	履修の成果を評価する方法の概要を記入する。 ・評価の時期（科目毎に小テスト、共通科目終了時に共通科目テスト等） ・評価の方法（筆記試験・口頭試験・レポート、放送または集合によるテスト等）等				
メディア利用	利用する技術の特色	上記放送と同様に記入する。				
	同時双方向性の確保	利用する技術によって一体的に扱うことのできる情報の種類及び同時双方向性の程度を具体的に記入する。 ・毎回の授業の実施に当たっての指導の方法 ・指導者と受講者の意見交換の場の概要をわかりやすく記入する （設定場所、時期、意見交換時の指導者のかかわり方、フィードバックの方法等） ・同時双方向性が保たれていない場合は、どのような工夫を行っているか 等				
	学修課程の管理方法	上記印刷教材・放送と同様に記入する。				
	試験等評価の実施方法	履修の成果を評価する方法の概要を記入する。 ・評価の時期（科目毎に小テスト、共通科目終了時に共通科目テスト等） ・評価の方法（筆記試験・口頭試験・レポート、メディアまたは集合によるテスト等）等				
面接授業	実施施設の名称	科目	室の区分	室数	総面積 (m^2)	収容人数 (人)
	通信による方法で授業を行う科目で、あわせて対面授業を行う科目について記入する。	共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合は独自の科目名）を記入する。	講義室、演習室又は実習室のうち該当するものを記入する。			

指定研修機関名：

10. 医学教育用シミュレーター及び医学教育用ビデオ等の教材の整備状況	医学教育用シミュレーター		
	種類	台数	使用する科目
	・商品名は括弧内に記入する ・購入予定で、購入予定時期が決まっている場合は記入する。 ・申請書類提出時に見積書・納品書等の添付は不要。		共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合は独自の科目名）を記入する。
	（例）患者シミュレーター （商品名）		
	医学教育用ビデオ		
	内容	使用する科目	
	・ビデオやDVD等の視聴覚映像教材を記入する。 ・教材の内容を把握できる程度の内容を記入する。 ・タイトルで内容がわかるものについてはタイトルのみで可。	共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合は独自の科目名）を記入する。	
その他（具体的に）			
内容	使用する科目		
・教材の内容を把握できる程度の内容を記入する。 ・タイトルで内容がわかるものについてはタイトルのみで可。	共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合は独自の科目名）を記入する。		

指定研修機関名：

1 1. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の見込み				
患者に対する実技を行う場合のみ記入する。	特定行為研修を実施する特定行為	症例数の実績（概数）	症例数の見込み	
		指定の申請が行われる年度の前年度における症例の実績を記入する。	前年度の症例数の実績を参考に、実習を行う期間の症例見込み数を記入する。	
			1 年間に複数回研修を行う場合は、1 回あたりの研修期間の症例数の見込みを記入する。	
1 2. 実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制 患者に対する実技を行う場合のみ記入する。	実習に係る安全管理に関する組織の設置状況	組織の構成員の人数		
		医師・歯科医師 () 名	薬剤師 () 名	
		看護師 () 名	その他 () 名	
		主な構成員（少なくとも指導者である医師 1 名を含むものとし、主な構成員を 3 名まで記入する。）		
		職種	氏名	役職
				実習を行う施設の管理者及び関係各部門の責任者である場合は、その旨を記載する。
				例) 医療安全管理部門の責任者
	実習に係る緊急時の対応に係る手順を記載した文書	* 本用紙に添付すること（様式自由）		
		添付文書には、添付文書番号と文書名を記入する。（同一施設で複数の特定行為区分を実施する場合、2 区分目以降の本様式に添付は不要）		
		患者の相談に応じる方法：		
患者から実習に係る相談があった場合の、報告経路及び改善等の対応策について、具体的に記入する。相談に応じる体制の周知方法について記入し、周知に関する掲示物等を添付する。（同一施設で複数の特定行為区分を実施する場合、2 区分目以降の本様式に添付は不要）				
実習に係る患者からの相談に応じる体制の確保状況	患者の相談に応じる責任者の氏名等			
	職種：			
	氏名：			
	役職：			
1 3. 実習を行うに当たり患者に対する説明の手順を記載した文書 患者に対する実技を行う場合のみ記入する。	* 本用紙に添付すること（様式自由）			
	・患者に提示する同意書がある場合は添付する。 ・添付文書には、添付文書番号と文書名を記入する。 （同一施設で複数の特定行為区分を実施する場合、2 区分目以降の本様式に添付は不要）			
1 4. 備考	臨床研修病院である場合は、基幹型臨床研修病院または協力型臨床研修病院のいずれかを記入する。			

備考

- 1 本用紙は、講義、演習又は実習を行う全ての施設について、特定行為区分ごとに記入すること。
- 2 本用紙右上「指定研修機関名」は、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の名称を記入すること。
- 3 「3. 施設の代表者の氏名」は、学校にあっては設置者、病院にあっては開設者、法人その他の者にあってはその代表者の氏名を記載すること。
- 4 「4. 特定行為研修の実施責任者の氏名等」は、協力施設の場合のみ記入すること。
- 5 「6. 当該施設で行う特定行為研修の担当科目と研修方法」の「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。「研修方法」は、講義、演習又は実習の別を記入すること。
- 6 「8. 教室の区分、数、面積及び収容人数」の「室の区分」は、講義室、演習室又は実習室の別を記入すること。
- 7 「9. 通信により行う場合の環境の整備状況」は、通信による方法で特定行為研修を行う場合のみ記入すること。また、「具体的な実施方法」は、以下の点について記入すること。
 - (1) 「利用する教材の特色」は、教科書及び指導書等の教材の作成及び更新の方針、送付等の教材を提供する方法の概要を記入すること。
 - (2) 「利用する技術の特色」は、授業を視聴させるために利用する放送通信技術の特色を記入すること。メディア利用の場合は、教材の作成及び更新の方針等の方法の概要も記入すること。
 - (3) 「同時双方向性の確保」は、利用する技術によって一体的に扱うことのできる情報の種類及び同時双方向性の程度を具体的に記入すること。また、毎回の授業の実施に当たっての指導及び受講者の意見交換の機会等の方法を記入すること。
 - (4) 「学修課程の管理方法」は、出席の確認や学修時間の確保の方法、受講者に勉学を促し、進度に応じて行う添削等による指導の機会や方法等の概要を記入すること。
 - (5) 「試験等評価の実施方法」は、試験等科目の履修の成果を評価する方法の概要を記入すること。
 - (6) 「実施施設の名称」は、面接授業を行う施設を記入すること。
 - (7) 「科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。
 - (8) 「室の区分」は、講義室、演習室又は実習室の別を記入すること。
- 8 「10. 医学教育用シミュレーター及び医学教育用ビデオ等の教材の整備状況」は、医学教育用シミュレーターを有する場合は、当該シミュレーターの種類、台数及び使用する科目を記入し、医学教育用ビデオを有する場合は、当該ビデオの内容及び使用する科目について具体的に記入すること。また、「使用する科目」は、共通科目の各科目又は区分別科目の科目名（独自に科目を設定した場合にあっては、当該科目名）を記入すること。
- 9 「11. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の見込み」、「12. 実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制」及び「13. 実習を行うに当たり患者に対する説明の手順を記載した文書」は、実習を行う施設のみ記入すること。
- 10 「11. 実習を行う施設における特定行為研修期間中の特定行為に係る症例数の見込み」の「症例数の実績（概数）」は、指定の申請が行われる年度の前年度における当該施設の症例数の実績を記入すること。また、症例数の見込みは前年度の症例数の実績を参考に記入すること。
- 11 「12. 実習を行う施設の医療に関する安全管理のための体制」の「実習に係る安全管理に関する組織の設置状況」の「備考」は、実習に係る安全管理に関する組織の主な構成員が、実習を行う施設の管理者及び関係各部門の責任者である場合に、その旨を記載すること。
- 12 「14. 備考」は、当該施設が臨床研修病院（基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院）である場合に、その旨を記入すること。
- 13 記入欄が足りない場合は、当該用紙を複写して使用するとともに、「(No.)」に通し番号を記入すること。